

浅田二郎氏 千葉県知事感謝状を授与される！！

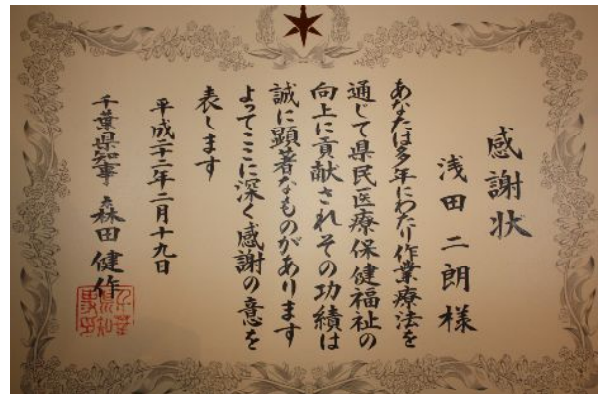
去る2月19日(金)、千葉県庁において、浅田二郎氏(八千代リハビリテーション学院)が高橋医療整備課長より千葉県知事感謝状を授与されました。浅田氏は永く千葉県千葉リハビリテーションセンターに勤務され、昭和58年～59年千葉県作業療法士会会長、平成3年～7年同事務局長、平成7年～14年同会長、平成14年～18年同顧問を務められました。県内における主な功績は以下の通りです。県より長年にわたる保健・医療・福祉の分野での多大な貢献が認められ、このたびの受賞となりました。千葉県作業療法士会にとっては初の受賞であり、士会にとっても非常に喜ばしく名誉なことと思っております。(千葉県作業療法士会会長 福田 均)

【浅田二郎氏の功績】

- 県内草創期の作業療法士の組織化に努めた。また、長年理事を務め、会の発展に大きく貢献した。
- 平成2年には、日本作業療法士協会の身障部門研修会の実行委員として、「それ行けOT病棟へ家庭へ地域へ」の企画運営に携わり、地域リハビリテーションの概念を協会として初めて取り扱った。
- 事務局長時代には、県からの依頼を受け、地域リハビリテーションがまだ手探りの時代に、理学療法士・作業療法士・保健師による地域リハビリテーション勉強会に参画し、在宅リハビリテーションの担い手に対する啓発に尽力した。
- 平成5年には、千葉県として初となる「日本作業療法学会」の誘致に携わった。
- 平成6年には都道府県作業療法士連絡協議会の設立に関与し、関東甲信越ブロック長も務めた。
- 平成9年から19年まで、介護支援専門員実務者研修の指導員を務めた。
- 平成10年から13年まで、千葉県地域リハビリテーション協議会委員を務め、中核病院の指定に向けた取り組み、地域との連携についての情報交換に尽力した。



浅田二郎氏と高橋医療整備課長



千葉県知事感謝状

千葉県作業療法士会 一般社団法人設立記念式典開催する！！

去る2月19日(金)、市川グランドホテルにおいて「千葉県作業療法士会一般社団法人設立記念式典」が開催されました。当日は日本作業療法士協会中村春基会長、千葉県千葉リハビリテーションセンター吉永勝則センター長はじめ、来賓として40名以上の関係各団体代表の方々が出席して下さいました。千葉全国学会学会長を務められた山下治男氏や元千葉県作業療法士会長の平賀昭信氏も遠方から出席して下さい、一般会員と合わせ80名以上の盛大な会となり、一般社団法人取得の喜びと意義を改めて感じました。中村協会長の祝辞の中で、「千葉県作業療法士会はこれでやっと成人となった。今後はその自覚をもった活動を展開してほしい」という言葉がとても印象に残っています。アトラクションでは船橋市の伝統芸能である「船橋ばか面踊り」を保存会の子供たちがお囃子に合わせて踊り、出席者がそのかわいらしい踊りに笑顔を見せるなど作業療法士らしい温かな会となりました。開催に当たり、数ヶ月前から実行委員会を立ち上げ準備に当たりましたが、大盛況のうちに式典を無事終えることができ、ほっとしています。実行委員の方々本当にお疲れ様でした。今後は県民の保健・医療・福祉の領域で、法人の名に恥じない活動を展開していきたいと思っています。会員皆様のご協力をぜひお願いいたします。(千葉県作業療法士会会長 福田 均)